



学校だより かけ橋

パート 2

横須賀市立汐入小学校 校長室

2013. 2. 4
No. 21

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

車椅子体験

4年生は、福祉をテーマに総合的な学習を進めています。これまでの学習で、ハンドアイズの方々に、視覚障害者の誘導法を教えていただいたり、点字についてお話していただいたりしました。また、自分たちで調べたことを1/2成人式でお家の方々に発表したりもしました。

今回は、その学習の延長として、車椅子体験をしました。港南ボランティアセンターの皆さんの協力で、実際に車椅子に乗ったり、押したりする体験をしました。体育館で、2人1組になって行いました。子どもたちは、マットや踏み切り板の障害物を乗り越えて、移動にてこずりながら、実際の街中でも、車椅子の方にとって困る場所があることを実感したようです。

その流れで、車椅子で生活している石井さんという方から、直接お話を伺うこともできました。石井さんは、今年度で3回目なので、汐入小学校のこともよく分かっているせいか、子どもたちの率直な質問に、一つ一つていねいに答えてくださいました。子どもが考えた質問をご紹介します。

- ①初めて、車椅子に乗ったときは、どんな感想を持ちましたか？
- ②生活する中で、一番大変なことは何ですか？
- ③電動車椅子の値段はいくらですか？重さは？スピードは？
- ④電動車椅子が、こわれたことがありますか？
- ⑤こわかったことはありますか？
- ⑥どんなことが好きですか？
- ⑦テレビを見るときは、どのようにして見えていますか？寝るときは？
- ⑧「お手伝いしましょうか？」と声をかけてもらうことはありますか？
- ⑨普段、家では、どんなことをしていますか？
- ⑩将来の夢は、何ですか？

⑥の質問に対して、石井さんの答が、「外に行く。おいしい物を食べる。誰かとおしゃべり。パソコン、音楽、ゲーム、アニメ。」でした。「ドラクエ、ワンピース、ナルト」といった具体的な名前が上がり、子どもたちとの親近感がぐっと増しました。

大人だと、妙に気を遣って聞けないような質問も、子どもたちが純粋な心で素直に尋ねて、それに石井さんが、きちんと答えていました。後で、石井さんが答えた内容を聞いて、とても感動してしまいました。



環境フォーラム

前回の学校だよりで予告しましたが、1月26日(土) ベイサイドポケットでイベントが行われました。大勢の保護者の方々にご参加いただきありがとうございました。

当日は、3年生のプレゼンの他に、環境ポスターの表彰も行われました。横須賀市内の小学生12名が表彰されました。何とそのうち、汐入小学校の6年生が2名も入っていました。さすが汐入の子どもです。

3年生のプレゼンも汐入らしさを発揮しました。他の学校は、猿島に行った時のことを写真と作文で発表していました。しかし、汐入小は、学校の歴史や今までの取り組みを劇の形で表現していました。そして、最後は、地域の方から教えていただいた篠笛の演奏で締めくくりました。会場にいた他の学校の校長先生から、「3年生らしくて、とてもいいね。」とお褒めの言葉をいただきました。

その後にギターライブがありました。横須賀の写真をバックに、ジャズっぽいギターのソロ演奏です。大人は楽しむことができましたが、時間も長かったので、子どもたちはどうかなと心配していました。帰り際に、子どもの近くにいた方が、私に言いました。「先生、子どもたちの聴き方がとてもいいですね。じっと聴いていただけることもすごいです。リズムに乗りながら聴いている子がいたのには驚きました。」

学校以外の人の言葉から、汐入小の子どもたちの良さを再認識した1日でした。



「良い姿勢」のくせをつけよう

1月30日(水)の昼休みに学校保健委員会が開かれました。校医さんやPTAの役員の方をお招きして、保健給食委員会の児童が調べたことを発表しました。

今回のテーマは、「よくかんで食べよう」と「よい姿勢・悪い姿勢」です。それぞれのチームが、研究動機と実験結果、研究して思ったことを模造紙にまとめたものを中心に発表しました。実際に、自分が給食時間にかんだ回数を調べたり、内蔵が描かれたTシャツを着て、姿勢が悪いと内蔵が圧迫される様子を実演したりして、発表していました。単に、原稿を読むだけでない発表に、思わず引きつけられました。

発表後、校医さんから、「姿勢が悪いと、次の日に響く。」「正しい姿勢が見やすい姿勢。悪い姿勢は、日々の生活の悪いくせが、姿勢に出てくる。」というお話をいただきました。

「良い姿勢」のくせをつけるには、日々の細かな言葉かけが大切です。早速先生方にも再確認しました。ご家庭でも、ご協力をよろしく願います。

